

# 令和4年度の実施内容及び 令和5年度の予定について

令和5年3月8日

徳島県商工労働観光部労働雇用戦略課

# 目次

## 1. 令和4年度の実組内容

- ・とくしまスマートワークプロジェクト
- ・とくしまテレワーク講座・マッチング支援
- ・徳島労働局との連携

## 2. 令和5年度の予定

- ・とくしまスマートワークプロジェクト
- ・【参考】徳島県令和5年度16か月型・骨格予算の  
主な事業(テレワーク関連)

## 3. 今後の支援に向けて

# 1. 令和4年度の取組内容

## とくしまスマートワークプロジェクト(20,000千円)

- **テレワークセンター徳島の運営**
- **県内企業を対象としたアンケート調査** ※前回会議で報告済み
- **個別相談(対面・電話・オンライン)**
- **とくしまテレワーク講座**
- **マッチング支援**
- **徳島労働局との連携**
- **「障がい者雇用企業連携推進事業」との連携**
  - ・講座開催時等に「テレワーク導入等による働きやすい職場づくり」を提案
  - ・「民間企業の障がい者雇用率」 R4:2.34%(R3:2.26%)
- **テレワークdeはぐくみ支援表彰**
  - ・令和5年3月 知事表彰(予定)

# 1. 令和4年度の取組内容

## とくしまテレワーク講座・マッチング支援

### とくしまテレワーク講座2022

- 10月4日から12月16日まで(全20回)
- eラーニングや動画配信を通じ、  
上記期間以外もオンデマンドで受講可能
- 希望者にはキャリアカウンセリングを実施
- 特別編「ホームページカスタマイズ  
技能集中講座」(対面、全5回)を実施



- ✓ 受講者数 延べ277名
- ✓ コース修了者数 延べ17名 (R5.1.31時点)

### マッチング支援

- 目的
  - ・とくしまテレワーク講座受講者への就労支援
  - ・企業の人手不足解消
  - ・テレワークの普及促進
- 対象
  - ・「とくしまテレワーク講座2022」コース修了者
  - ・県内のテレワーク導入(検討中)企業
- 業務委託、雇用契約ともに対応
  - ※雇用契約については「徳島県すだちくんハローワーク」と連携支援
- 日程  
2月13日から3月10日まで



# 1. 令和4年度の取組内容

## 徳島労働局との連携

### 1. 連絡会議の開催

- ・ 月一回程度開催
- ・ テレワークに関する情報交換や、広報連携等についての協議を実施

### 2. 労働局主催セミナーにおける相談ブースの設置

- ・ 「改正育児・介護休業法、パワハラ対策等説明会」において、事業の広報及び参加企業への相談対応を実施

### 3. 情報交換会の開催

- ・ 日本政策金融公庫徳島支店と、働き方改革に関する支援施策等について情報交換

### 4. 労務管理についての動画作成

- ・ 「テレワークを活用した人材確保ケースにみる労務管理ポイント」としてケーススタディ形式の動画を作成



## 2. 令和5年度の予定

### とくしまスマートワークプロジェクト(17,000千円)



- テレワークセンター徳島の運営
- 県内企業を対象としたアンケート調査
- 個別相談(対面・電話・オンライン)
- とくしまテレワーク講座
  - ・**①**キャリアアップを目指す方を対象とした講座を実施
- マッチング支援
- 関係機関・関係事業との連携
  - ・「障がい者雇用」や「良質な雇用」、  
「子育てに優しい職場環境づくり」を支援
- テレワークdeはぐくみ支援表彰



## 2. 令和5年度の予定

### 【参考】徳島県令和5年度16か月型・骨格予算の主な事業 (テレワーク関連)

[教育委員会]

未知を切り拓く、新時代「ダイバーシティとくしま」の実現		3	4	8	10	11
		【令和5年度当初予算額 2,739,388千円】				
1 目的	「ダイバーシティ先導モデル」として国府支援学校の整備を進めるとともに、SDGsによる新たな取組みの創出や、医療的ケア児の社会参加支援の充実を図るなど一人一人が輝き、活躍できる「新時代の特別支援教育」を推進する。					
2 事業内容	<p><b>(1) 新時代対応！国府支援学校整備事業 2,719,934千円</b>            国の新たな「特別支援学校設置基準」に即応し、プロジェクトの先駆けとなる「新校舎棟」の工事に着手するとともに、「新体育館棟」の実施設計を行う。            ○ 新校舎棟工事 令和5年7月～令和6年度竣工（予定）            ○ 新体育館棟の実施設計 令和4年10月～令和5年9月（予定）</p> <p><b>(2) 新時代「特別支援学校SDGs」創出事業 6,423千円</b>            「ダイバーシティとくしま」やSDGsの実現に向けた特別支援学校における新たな取組みを創出するため、企業等との協働による「地域連携イベント」や「スポーツ活動」に加え、県産野菜等を活用した「新たな6次産業化の取組み」を推進する。</p> <p><b>(3) 特別支援教育「地域まるごと専門性向上」事業 6,000千円</b>            特別な支援を必要とする児童生徒や医療的ケア児の支援充実のため、教員の専門性向上に向けた研修の実施、「医療的ケア児等支援センター」と連携した医療的ケア児一人一人の社会参加支援の促進など、「サポート体制の構築」を図る。</p> <p><b>(4) 発達障がい「つながる・ひろがる・はばたく」充実事業 7,031千円</b>            発達障がいのある児童生徒について、就学前から卒業後の就職まで切れ目のない支援体制を構築するため、本県独自の「ポジティブ行動支援」の深化を図るとともに、<u>テレワークをはじめとする就労支援を推進する。</u></p>					
		「国府支援学校整備事業HP」				
		「特別支援まなびの広場HP」				

担当：特別支援教育課

## 2. 令和5年度の予定

### 【参考】徳島県令和5年度16か月型・骨格予算の主な事業 (テレワーク関連)

[未来創生文化部]

#### 児童相談所のデジタル化による体制強化



【令和5年度当初予算額 55,140千円】

1 目的 年々増加する児童虐待を未然防止し、安心して「産み・育つ」ことのできる徳島を実現するため、デジタル技術を活用した業務改革により、児童相談所の体制強化を図る。

2 事業内容 **新**児童相談所DXプロジェクト **DX** 55,140千円

##### (1) 児童相談所業務のデジタル化

・「児童相談管理システム」を導入し、虐待情報をシステム管理するとともに、ネットワーク上で関係機関とリアルタイムの情報共有を図ることにより、「虐待の早期発見・早期対応」をはじめ、「見守り体制の充実」につなげる。

・国において導入準備を進めている「AIシステム」を活用し、地域性を考慮した適切なリスク判定を行うため、ノウハウの蓄積を行う。

##### (2) オンライン協議体制の充実

「児童相談管理システム」を「マルチデバイス対応」とすることで、迅速な情報共有や意思決定を行い、「場所や時間」に左右されない虐待対応を可能とする。

担当：次世代育成・青少年課こども未来応援室



## 2. 令和5年度の予定

### 【参考】徳島県令和5年度16か月型・骨格予算の主な事業 (テレワーク関連)

[西部総合県民局]

「徳島・にし阿波」の地域資源を活かした地域づくり		2	8	9	11	15
		【令和5年度当初予算額 29,600千円】				
1 目的	「にし阿波」の地域資源を活かした地域づくりをさらに加速させるため、「にし阿波」への観光誘客や移住交流を一層推進する。					
2 事業内容	<p>(1) 「徳島・にし阿波」桃源郷魅力強化事業 <b>GX</b> 21,800千円</p> <p>持続可能な観光地域づくりを推進するため、DMO「そらの郷」を中心に、「大阪・関西万博」や「ワールドマスターズゲームズ関西」を見据え、インバウンド回復に向けた戦略的なプロモーションを展開するとともに、「農泊受入家庭を核とした教育旅行」や「サステナブルツーリズム」の強化を図る。</p> <p>※外国人地域おこし協力隊による情報発信</p> <p>「Hidden Tokushima Nishi-Awa, Japan」(Instagram)</p> <p>(2) 世界が注目！「世界農業遺産」魅力発信事業 <b>GX</b> 6,200千円</p> <p>「にし阿波」の農業・農村の活性化を図るため、「にし阿波の傾斜地農耕システム」の「食文化や風景、さらには持続可能な農業の魅力」を世界に発信するとともに、多様な担い手の確保・育成に取り組む。</p> <p>※徳島剣山世界農業遺産推進協議会HP</p> <p>(3) <b>新</b>「徳島・にし阿波」フレキシブルワーク体験・移住交流促進事業 <b>DX</b> 1,600千円</p> <p>就農による移住者の増加に繋げるため、「にし阿波」の豊かな自然や伝統的な暮らしを活かした「就農」・「農泊」・「ワーケーション」等の様々な体験を自由に組み合わせる事が出来る「<u>オーダーメイド型の就農体験ツアー</u>」を実施する。</p>					

担当：地域創生観光部、農林水産部

### 3. 今後の支援に向けて

#### ➤ 支援に対する県内のニーズ

##### ● 令和4年度「テレワークとデジタル化に関するアンケート」

- ・ 経営課題のトップは「人材の獲得と定着」
- ・ テレワークの課題トップは  
継続企業:「労務管理・マネジメント」  
中段企業:「セキュリティ対策」  
未実施企業:「環境整備」

##### ● 「とくしまテレワーク講座」受講者の声

- ・ フルタイムでない柔軟な働き方がしたい。
- ・ テレワークは、「どんな状況になっても働くことを諦めなくていい働き方」かもしれない、と希望を持てた。

…など

- 企業と働きたい人のニーズに応じた、「雇用」や「業務委託」のマッチング支援
- 企業の課題や段階に応じた個別支援
- 受講者に寄り添った講座の提供、キャリア支援